

総合治水推進週間イベントニュース

平成18年5月21日(日) 快晴 ☀️

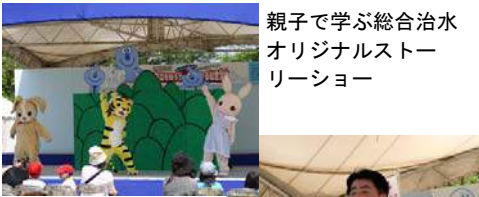
5月15～21日は「総合治水推進週間」。その最終日に『ならの防災を知ろう、地域で守る総合治水』と題して、大和川流域における総合治水対策の推進に向け、流域住民に「総合治水」の認識と理解を深めてもらうPRイベントを開催しました。

催事の概要

今年で9回目となる総合治水イベント。今回は大和郡山市の浄化センター公園で開催。「ならの防災」をテーマに、総合治水博士講座やパネル展、災害対策車の展示といった会場イベントとともに、総合治水施設を見学するバスツアーなども行い、大盛況の1日でした。



模型を使っでの博士講座。都市化が洪水の要因を作っていることがよくわかります。



親子で学ぶ総合治水オリジナルストーリーショー

奈良盆地の標高図を持って説明する元永事務所長

ステージイベント

1. オープニング：ビジョーズ和太鼓隊
2. 総合治水博士の「なるほど・ザ・総合治水」
3. 高橋恵子氏「ガーデニングのすすめ」
4. まこと保育園園児マーチング演奏
5. 親子で学ぶ総合治水オリジナルストーリーショー

コーナー展開

1. パネル展「わたしたちのまちの総合治水」
2. パネル展「大和川の再生を目指して」
3. 非常食試食体験
4. はたらくくるま乗車体験
5. ミニショベルカー運転体験
6. おもしろ自転車運転体験
7. 総合治水クイズラリー

ミニバスツアー

大和郡山市内の総合治水施設を巡るバスツアー

11：00～15：00までの間、1,000人以上の来場者のもと、ステージでは総合治水を解りやすく伝える博士講座やオリジナルストーリーショー、家庭でできる総合治水のすすめとしてガーデニング講座を行いました。また、地元の「まこと保育園」のご協力を得て、子どもたちの素晴らしい演奏が会場に華を添えてくれました。ステージ以外の各コーナーで子どもたちに人気があったのは、降雨体験やミニショベルカー体験。総合治水施設見学バスツアーはあつという間に定員が埋まり、キャンセル待ちが出るほど！最後は、博士の総合治水〇×クイズで大いに『総合治水』を学んだ一日でした。



災害時に活躍する「はたらく車」も2台展示しました



強い雨が体験できる降雨体験機も登場



「あら！おいしい」と大人気の非常食コーナー



パネル展示の中でも災害写真には人々の関心を惹きました。

ミニバスツアー



鰻堀池では大和郡山市職員に説明いただきました。



郡山高校城内学舎では奈良県職員に説明いただきました。

参加者のアンケートより

「私たちの生活に関わることなので、家庭でも出来ることはやろうと思います。」「子どもたちがいろいろな体験ができて本当にとっても喜んでいました。」「こういうイベントは身近に感じるのですべき。子どもも楽しめ、親も勉強になりました」「非常食っておいしいのでビックリ」「大和川のことがよくわかりました」